

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] JAK2 遺伝子変異陰性多血症患者における SGLT2 阻害薬の影響を評価するための後方視的検討

[当院研究責任者] 部署名 血液・腫瘍内科 氏名 梶口 智弘

[研究の背景] 2005 年に JAK2 V617F 変異が報告され、真性多血症患者の多くの症例で同遺伝子変異が検出されています。しかし実際の臨床現場では多血症を呈する患者さんで JAK2 V617F 変異が検出されないことも多く、JAK2 V617F 変異陰性の多血症患者さんではその原因を特定できないこともあります。SGLT2 阻害薬は糖尿病や慢性腎臓病で用いられる内服薬であり、一部の症例でヘマトクリットの上昇が報告されていますが、その詳細や適切な対策については十分な検討がなされていません。本研究では、JAK2 V617F 変異陰性の多血症患者における SGLT2 阻害薬の影響を評価し、その病状や対策について検討します。

[研究の目的] JAK2 遺伝子変異陰性多血症患者さんの病態へ SGLT2 阻害薬が与える影響を評価し、適切な対策を模索する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021 年 1 月から 2023 年 12 月までの間に当院で JAK2/CALR 遺伝子検査を施行した患者さん

●研究期間：実施許可から 2024 年 10 月 13 日

●利用する検体、カルテ情報

年齢、性別、身体所見、検査所見（血液検査、画像検査、病理組織検査）

●利用する検体、カルテ情報の管理

カルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、

研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 血液・腫瘍内科

氏名 梶口 智弘

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139